

今年度の研究④-1

○豊かな学びのための対話と協働を意識した授業展開

- ・言葉による対話、音や音楽を媒体とした対話・協働
鑑賞…言葉を選択（音色・リズムに限定）

⇒選んだ理由を交流

[illegible]

今年度の研究④-2

○豊かな学びのための対話と協働を意識した授業展開

- ・言葉による対話、音や音楽を媒体とした対話・協働
即興表現…（言葉による対話に加えて）

友だちの表現
を何度も聴く

教師の言葉かけ (価値付け)

今年度の研究④-2

最初の表現	教師の言葉かけや子どもとのやり取り	2 回目の表現
テン ツク ツク ヤ	〈即時的な声かけ〉 T:『『ツク』使ったの？すごね』	デケ ツク テン ヤ
デケ デケ デケ ヤ	T:「基本をしっかりとできたね」 T:『『デケ』いっぱい使ったね』	ツク ツク ツク ヤ
テン テン テン ヤ	T:『『ヤ』の前にも『デケ』も入れたね』 T:「3つ（リズムの種類）使ったの？」C:「失敗した」 T:「いいよ、いいよ、そういうの大歓迎」	テン デケ デケ ヤ
テン デケ デケ ヤ	〈発表後の話し合い〉	テン ツク ツク ヤ
テン デケ デケ ヤ	T:「友だちの聴いて、どんな新しいことがあった？」 C:「ツク入れてた」	ツク テン ツク ヤ
テン デケ テン ヤ	T:「どこに？」C:「最後のほう」 T:「デケ増やした人いた？」	テン テン テン ツク
デケ テン ツク ヤ	C:「いた」 T:「どんな風に？」C:「全部！」 C:「2つ入れた人もいた」	ツク ツク ツク ハ
テン テン テン ヤ		デケ デケ デケ ヤ

「深める」場面
ではどうか…

練習したリズム、
「テン」を基本としたリズム中心

「テケ」や「ツク」を使ったリズム
(友だちの表現や教師の言葉に影響)

今年度の研究④-3

○豊かな学びのための対話と協働を意識した授業展開

- ・言葉による対話、音や音楽を媒体とした対話・協働



成果

○新学習指導要領の趣旨に則った授業改善と学習評価

○鑑賞と表現の関連させることの有効性

○口唱歌を手がかりにした学習の可能性

17

口唱歌を手がかりにした鑑賞

題材名 : 和楽器の響きと旋律の美しさを味わおう

鑑賞教材 : 「春の海」 宮城道雄

概要 : 箏の口唱歌と尺八の音名を手がかりに「春の海」の音色や旋律の特徴を聴き取ったり感じ取ったりする。

箏の音 箏口音名 尺八音 一音		ローーリロツレチーレチー	
トントトテト	トントトテッテン	トントチチッテン	トントチチッテン
リローツーロリチレチー		ーロリリチーレチー ーロ	
トントトテト	トントトテッテン	トントトトッテン	トントトチッテン



18

課題と今後の見通し

◇鑑賞と表現のより効果的な関連について研究を深める

(児童の学びの姿をより具体的に)

◇他題材（音楽づくり）での題材構成

◇ICTの有効活用（対話・協働）

19